

今月の主な動き

■人口(19年6月1日現在) 5月の概況

推計人口 2,969,876人 (対前月 406人)

(男 1,477,332人, 女 1,492,544人)

〈内訳〉 自然動態 61人

(出生 2,324人, 死亡 2,263人)

社会動態 345人

(転入 9.915人, 転出 9.570人)

世帯数 1,057,065世帯 (対前月 1,266世帯)

■賃金・労働時間・雇用 (19年4月)

現金給与総額 **275,322円** (1.2%) きまって支給する給与 268,162円 $(\triangle 0.2\%)$ 特別に支払われた給与 7.160円

総実労働時間 157.5時間 (△0.2%)

所定内労働時間 144.9時間 (△1.1%)

所定外労働時間 12.6時間(10.3%)

※ 事業所規模5人以上() 内は前年同月比。

■鉱工業指数(19年4月)(季調済,H12年=100)

生産 **105.2** (前月比 △1.6%, 前年同月比 △1.0%) 上昇…化学工業, 輸送機械工業等

低下…電気機械工業,食料品・たばこ工業,金属 製品工業等

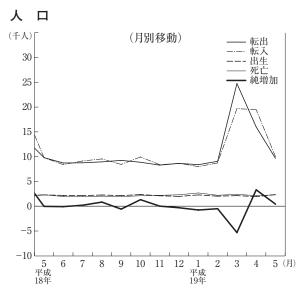
出荷 **104.7** (前月比 △1.3%, 前年同月比 0.6%) 上昇···化学工業, 輸送機械工業等

低下…一般機械工業,電気機械工業,食料品・た ばこ工業等

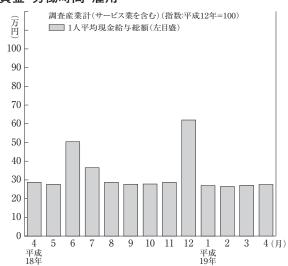
在庫 100.6 (前月比 △ 3.4%, 前年同月比 10.9%)

上昇…一般機械工業,金属製品工業等

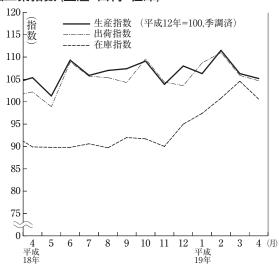
低下…電子部品・デバイス工業, 電気機械工業, 化学工業等



賃金·労働時間·雇用



鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉



●今月の主な動き ※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※ 今月の主な動き●

■消費者物価指数(19年5月)(県平均, H17=100)

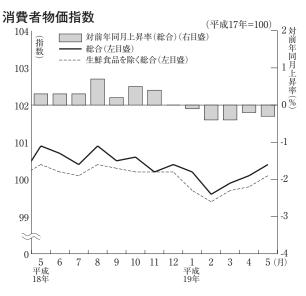
総合 100.4 (前月比 0.3%, 前年同月比 △0.3%) 上昇した項目…自動車等関係費, 生鮮果物, 教養娯楽サービス等 下落した項目…教養娯楽用耐久財, 家庭用耐久財, 通信等 生鮮食品を除く総合 100.1 (前月比 0.3%, 前年同月比 △0.3%)

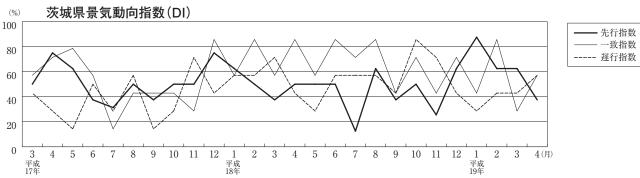
■費目別指数

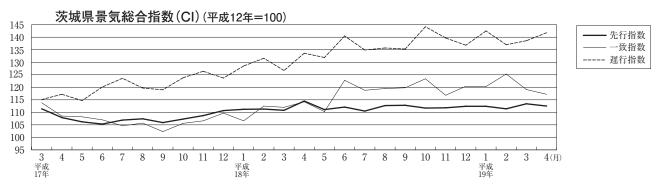
(平成17年=100)

区	分	指数	上昇率(%)				上昇率(%)	
			対前月	対前年 同 月	区分	指数	対前月	対前年 同 月
総	合	100.4	0.3	$\triangle 0.3$	保健医療	103.7	0.1	2.2
食	料	101.1	0.0	$\triangle 0.4$	交通・通信	99.5	1.0	△0.8
住	居	99.7	0.2	$\triangle 0.4$	教 育	101.5	0.0	0.7
光熱	・水道	103.9	0.2	1.4	教養娯楽	97.2	0.4	$\triangle 2.7$
家具・多	家事用品	97.3	0.6	$\triangle 2.0$	諸 雑 費	101.0	$\triangle 0.3$	0.8
被服及	が履物	103.1	1.5	0.8	生鮮食品を除く総合	100.1	0.3	△0.3

■景気動向・総合指数(19年4月)







≪景気動向指数(DI)≫

先行指数 37.5% (確報値) 5か月ぶりに50%を下回った 一致指数 57.1% (確報値) 2か月ぶりに50%を上回った 遅行指数 57.1% (確報値) 5か月ぶりに50%を上回った

4月の景気動向指数の一致指数は、百貨店販売額が3か月連続マイナス、鉱工業生産指数が2か月連続マイナス、投資財出荷指数がマイナスに転じたものの、大口電力使用量が6か月連続プラス、有効求人数、茨城県管内輸入額、機械工業生産指数がそれぞれプラスに転じたため、2か月ぶりに50%を上回った。

一方、経済部門別にみると、生産出荷関連の指標は、採用している4指標のうち2指標がプラス、労働関連の指標は5指標のうち4指標がプラス、消費家計関連の指標は、採用している3指標のうち2指標がマイナスとなった。

≪景気総合指数 (CI) ≫ (H12=100)

先行指数 112.5 (確報値) 対前年同月比 △1.1% 一致指数 117.2 (確報値) 対前年同月比 2.4% 遅行指数 141.8 (確報値) 対前年同月比 3.8%